

ビルメン FUKUOKA

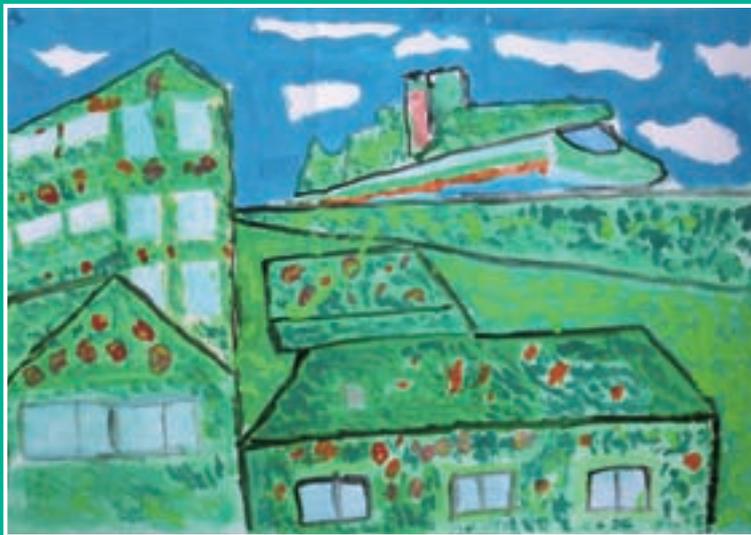
<http://www.fukuoka-bma.jp>



『緑で覆われた町』

2008年度「都市ビル環境の日」
絵画コンクール優秀賞

福岡市立横手小学校6年 上野 祥太郎くんの作品



編集・発行 社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目15番12号(藤田ビル2F) TEL(092)481-0431 FAX(092)481-0432

「ビルメンヒューマンフェア'09 in 京都」参加報告

西部ビル管理(株)

谷川 広行



去る10月18(日)~20日(火)の3日間、国立京都国際会館で「ビルメンヒューマンフェア'09in京都」が開催され、私も現地まで足を運んでまいりました。全国ビルメンテナンス協会の2年に一度の秋の一大イベントということで、私も何か得られるものはないかと、19日(月)に福岡を出発し、京都国際会館へは昼過ぎに到着。会場では新型インフルエンザ対策、アルコール手指消毒液は勿論のこと、マスクの配付、医師、さらには赤外線サーモグラフィの設置など、さすがビルメンテナンス展だと思わせる配慮でした。

会場内では、「ビルメンテナンス総合資機材展示会」「第11回全国ビルクリーニング技能競技会」「第2回ベスト・インスペクター賞受賞発表会」「第8回ビル設備管理技能演技会」などが行われており、前回の幕張会場とはまた違う雰囲気、分散された会場配置となっていました。

今回、私はメインに総合資機材展を、時間の合間にビルクリーニング競技会を観戦しました。

総合資機材展では大手メーカーが新商品を発表され

ており、いろんな情報を聞く事ができましたが、私的には会場周りに出展している小ブースの方が面白く、見たことのない資材・機材が数多く出品されており、その場で買って帰りたいと思わせる製品もありました。特に衛生陶器用の水垢落とし。釉薬より柔らかいが水垢より固いという物理的な新しい発想です。やはりこういった展示会では「掘り出し物」を探すのが楽しみの一つですね。

ビルクリーニング競技会では、コートが2面設営されているのですが、そのコート両側には選手を映し出す大型スクリーンが設置され、見ている方にも選手の緊張感が伝わってくる本格的な会場です。これはみなさん一度見られた方がいいです！全国から勝ち上がってきた選手みなさんの正確さとスピードで、競技会場は熱気に溢れていました。

最後に今回のヒューマンフェアの運営に携わられた委員会の方々、九州から競技選手として出場された方々、また資機材メーカー様のおかげで有意義な時間を過ごさせていただきました。みなさま大変お疲れ様でした。

平成21年度 懇親旅行記

(株)富士メンテサービス 渡辺 敏也

『あ・な・た・いつまた逢えるのですか～ 濟州エ
ア・ポート小雨にけむる～～』

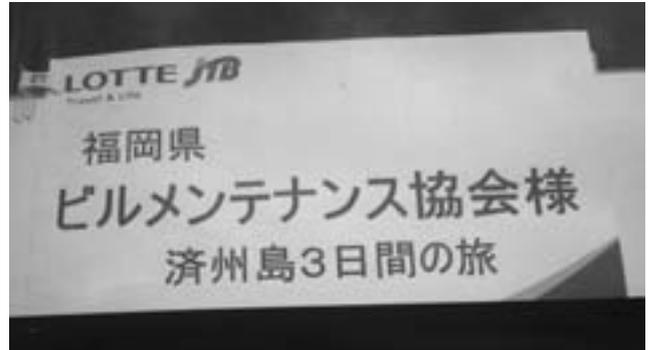
(1988・歌：濟州エア・ポート 歌手：半田浩二)

アンニョンハセヨ～。旅行恒例の夕食じゃんけん
大会でなぜか勝って、副賞に今回の記事執筆も獲得
してしまった富士メンテサービスの渡辺です。

去る11月8日(日)より3日間の日程で、(社)福
岡県ビルメンテナンス協会の懇親旅行に参加させて
いただき、韓国は濟州島へ行ってきました。

福岡空港にて藤調査広報委員長による結団式を
行った後、総勢20名は12:20、一路濟州島へ出発。
約1時間のフライトで、あっという間に到着。濟州
島の気温は福岡とほぼ一緒で20度。Tシャツでも十
分な天気。ただし、さすが島だけあって、天気はア
ガシ(お嬢さん)心と秋の空、小雨が降ったり止ん
だりの空模様でした。

到着後は早々と石焼ビビンバをいただき、トケビ
道路(おばけ道路)を観光。このトケビ道路、上り
坂のように見えるのですが、実は下り坂という目の
錯覚とはいえ不思議な道路です。急な下り坂が連続



した後、いきなり勾配が緩くなると上り坂に見える
ようです。その後は、宿泊するホテルロッテ濟州島
へ移動。ホテルには免税店があり、カジノありで、
さすがスーパーデラックスという風格のホテルでし
た。各人買い物をしたり、スポーツマッサージに行
ったりと、のんびりした時間を過ごし、夕食は韓
国名物のカルビを堪能。今宵はカジノで勝負だと、
気合いを入れてホテルに帰ると、豪雨でエレベータ
が動いていない! みんな、暗い非常階段で各部屋へ
.....部屋へ入ってホッとしたら停電でヤミの世界
へ。その後、T氏の強引な誘いでカラオケに行き、
濟州エア・ポートを歌い、ホテルでのカジノで初日



は楽しく終わりました。勝負の結果は聞かないでください.....。

翌日9日は天気が気になりましたが、参加者のみなさんの日頃の行いが良いのか、絶好のゴルフ&観光日和。ゴルフ組は名門ナインブリッジへ、観光組は民俗村などを散策。私はゴルフ組でしたが、コースも最高ながらレストランでは高級ホテルのようなおもてなしと料理に感動しました。夕食はアワビ海鮮料理をいただきましたが、済州島の海鮮が有名なのも納得できる味でした。

最終日10日は、前日同様にゴルフ組と観光組に分かれての行動だったのですが、天候は暴風暴雨。残念ながらゴルフはキャンセルし、お昼まで全員免税店で買い物やお茶をしながら時間を過ごし、昼からは韓国食料店などを巡り、射撃場、キジ料理を堪能し、福岡への帰路につきました。

今回の旅行では、済州島は福岡から1時間弱で行けるという場所でありながら、やはり外国だったということ。しかし、食にしろ言葉にしろ、日本人には訪れやすい国だということが実感できました。また、大型ショッピングセンターでは、ビルメンテナンスに従事する女性の方が日本と変わらない作業方法でキビキビと働いている姿が印象的でした。

最後に、今回の旅行を企画された藤調査広報委員長をはじめとする委員の方々、同行していただいたJTBトラベル九州の安部さん、現地ガイドのカンさん、チェさんのおかげで楽しく、そして安全に旅することができたことに深く感謝いたします。参加されたみなさま、スゴハセヨ（お疲れ様）！！

済州エア・ポート大雨にけむる～



公益法人 への道 『Q & A』

公益社団法人化特別委員会
座長 金子 誠（会長）

変える勇気との対話

当協会は皆さまの力強い支援を受け10月7日に公益法人認定のための申請を行いました。期を同じくして全国協会も10月16日に公益認定申請を出しました。いまビルメンテナンス協会団体の公益性が国と地方とで審査されているところです。多くの地方協会でも、この公益法人に関わる選択論議に拍車がかかってきたようです。“公益か一般か？”そして“そのメリットとデメリットは？”という二者択一の論議が堂々巡りしかねない状況です。福岡県は過去2年半に亘りこの選択判断に真摯に取り組んできました。今春、意思決定の最終段階では県下各地区を訪問し、会員の皆さんと膝詰めでその意思を確認させて頂きました。執行部構想の具体性の希薄さには、厳しい叱責の言葉も受けました。しかし、それも日頃の信頼関係の成せる業であり、むしろ執行部に対する激励と期待の裏返しであると感得し、公益化推進の励みとさせて頂きました。そのお陰さまをもち、福岡県は公益法人化に関し現状やれることはすべてやり遂げて、真っ白な気持ちで申請を行うことができました。会員各位のご支援に対し、あらためて深甚なる感謝の意を捧げます。

早ければ新年明けには公益の認定を受けられないものかと心静かに念じているところです。

Q & A その33：（他県協会の役員より）「自分の協会でもいま公益化推進の是非を検討している真っ最中だが、論議の入口と出口が繋がってしまって延々と小田原評定になってしまう。福岡県は先駆けて検討されたようだが、その解決の糸口は何だろうか？」

座長視座：メリット・デメリットのステレオタイプ（紋切り型）な論議をまず排しました。時代が激変している時に、業界の内輪の常套論理で公益化問題をいつまで論じても正解にはたどり着けないと感じたことです。あらゆる業界・

業種でその安定構造が大きく揺らいでいることの認識・・・ビルメンだけは特別か？そしてその変化は一過性ではなくさらに奥深く進行していく現実認識・・・ビルメンだけがいまの場所に居座れるのか？その上、この変化する加速度の実感・・・ビルメンだけが聖域か？公益化論議の一つの大きな側面は、この“ビルメン安住の地から他所へ移りたくないという気持ち”との相克とも考えられます。誰でも「安定」と「実績」という財産は失いたくはありません。景気不況で時々その財産が減じることもあったでしょうが、基本的には景気サイクルという経営環境の中であって、辛抱していれば好景気になって取り戻せるという時代だったと思います。しかし、その時代そのものがサイクル（循環）ではなくスパイラル（螺旋階段）の軌道を動くようになったのです。降下し始めたら、どこかでくい止めなければ延々と墮ちて行く時代の潮流にいるのだと想定しました。その螺旋階段の踊り場には、格差社会とか二極化というキーワードが落書きされています。既刊当コラムのQ & A コーナーで、全協「護送船団方式」は十年前に解体されたと述べました。いまお話ししている論旨はこのことにも通じています。

斯業の顧客目線に転ずるなら、お客さまのビルメンに対するニーズはどれくらい変化していると思われますか？その変化の大きさそのものが、不満足になっていないでしょうか。ビルメンの顧客ニーズも高度化・多様化からは逃れられません。さらに生き残りを論ずるなら、そのニーズはウォンツへとステップアップされるべきでしょう。このような論点を無心に白紙に素描していったら、未来の公益法人像が浮かび上がってきました。この激変の時代にあって組織の最大の危機は、変化への対応に遅れることであると認識しています。

青年部新入部員大募集!

福岡県ビルメンテナンス協会青年部では、随時新入部員を募集しております。倉重部長、吉次、古賀、草場副部長をはじめ、現在32名の部員が在籍しており、各部員間の交流はもちろんの事、日々進化するビルメンテナンス業界における情報収集、セミナーの開催、各部員所属企業の関係する協力業者との交流会などを積極的に行っております。

その他、九州、西日本、全国における各都道府県青年部との交流会への参加など、非常に有意義な活動を行っております。

(社)福岡県ビルメンテナンス協会の会員企業の将来を担う若きビルメンマンの皆様、青年部にて未来へ向け飛躍しませんか。

福岡県全地域よりの入部をお待ちしております!

気になる年会費は年間36,000円(3,000円/月)です。詳しくは協会事務局まで!

第348回理事会報告

日時/平成21年11月6日(金) 10:30~12:30

場所/県協会会議室

出席者/金子、古賀、松岡、西田、仲前、渡辺、後藤、川原、藤、西村、野形、松延 各理事
末吉相談役
高倉、草場 両監事
事務局)宮崎事務局長、三浦局員

・審議事項

1. 「松田順吉先生を偲ぶ会」(松岡)

松田先生は外部理事として6年間在籍され、当協会の運営に尽力頂いた経緯があり、関係の深い10名の参加者を募り、出席することにした。承認

2. 各種規程案について(西田)

現行規程(委員会規則、専門部会規則は新規追加)を見直し、公益法人移行認定後に対応する各種規程17案件について各理事へ資料を提示し、精査を依頼した。修正あれば11月末期限で事務局へ連絡する事とし、12月理事会にて最終審議を行うことにした。

[各種規程案:総会議事運営規則、理事会規則、委員会規則、専門部会規則、入退会規則、事務局組織規程、役員等職務権限規程、文書取扱規程、印章管理規程、就業規則、会計処理規程、情報公開規則、通報者保護規程、個人情報保護規程、財産管理運用規程、資産運用規程、役員等報酬規程]承認

3. 銀行口座集約の件(西田)

公益認定に伴い、現在保有している口座のうち不要と判断されるものを解約し、公益認定後の資金運用に即した口座管理の簡素化を図るため、現行4銀行12口

座を2銀行(福岡銀行、西日本シティ銀行)5口座に集約する。承認

4. 新公益法人会計ソフト購入の件(西田)

現在使用中の大塚商会のソフトをバージョンアップ(費用は235,000円)する方が、新規に他のソフトを購入するより大幅な節約となる。これにより公益法人会計へ対応を行う。尚、会計処理として購入費用は無形固定資産扱いとなり、減価償却処理(5年償却)を行う。承認

5. 年賀はがき送付先見直しの件(西田)

会員への年賀状送付は、協会内の身内との観点より不要と判断し、新年度より取りやめ、会員へは12月度ビルメン誌で送付中止の案内を行う。また、旧外部理事への送付も取りやめる。尚、行政、全協、九州管内協会、関係先等への送付は従来通り行う。承認

6. 防除作業従事者研修について(松延)

受講料については、現状5,000円を次年度より全国の平均受講料並の8,400円への値上げの申請を厚生労働省へ行い、会員へは説明の上、理解を求め、次年度単価改定の厚生労働省への申請時期も切迫していることも勘案し、承認することにした。

講習会場については受講者の利便性を配慮し、来年2月に久留米会場を新たに追加し、次年度以降の実施については今年度の参加人数等の結果を見た上で判断する。承認

7. 全協アンケート調査対象企業推薦について(宮崎)

各理事の企業を中心に依頼し、全協のアンケート

に協力することにした。承認

8. 企業合同説明会について(宮崎)

福岡県福祉労働部労働局より訪問を受け、当協会に対して12月21日(月)吉塚庁舎にて開催の合同企業就職説明会(警備業協会と合同で)参加の要請があった。今回も本年3月開催と同様警備業協会との合同説明会となる。本件については詳細把握の上、協会会員へ参加希望を募ることにした。承認

9. 12月理事会開催日程について(西田)

12月10日(木)15:30より開催する。終了後、忘年会を実施し、政治連盟、九州地区本部へも案内を行う。承認

10. 地域防災ネットワーク部会会員追加の件(後藤)

北九州地区の惣西日本サニタリーセンターより部会への参加希望があった。承認

報告事項

1. 病院清掃従事者研修報告(松延)

開催日 10月9日(金)

開催場所 ももちパレス

参加者 28社・51名

2. 空調給排水管理従事者研修指導者打合せ報告(松延)

開催日 10月14日(水)

開催場所 県協会会議室

出席者 6名

内容 11月19日開催予定の空調指導者講習会新規・再講習について

3. 総務委員会報告(仲前)

開催日時 10月30日(金)14:00~15:30

開催場所 県協会会議室

出席者 9名

議 題

- 1) 各種規程案の検討
- 2) 預金口座集約の件
- 3) 新公益法人会計ソフト購入について
- 4) 年賀状送付先について
- 4. 都市ビル環境の日部会報告(仲前)

開催日時 10月30日(金)16:00~17:30

開催場所 県協会会議室

出席者 17名

議 題

1) 経費実績の件

予算1,500,000円に対し実績1,335,575円(10/29時点)。クリーンアップ中止によるタオル未使用分は次年度に繰り越し。

2) 事業報告書の件

8頁綴りで500部を作成(経費237,615円)し、11月末に会員及び関係先へ発送することにした。

3) クリーンアップ福岡について

雨天時の対応及び連絡体制について

今後の展開について

4) シンポジウムについて(各委員より意見聴取)

一般の人の参加を増やすために

本年度の発表ブース設置について

その他

年賀状の送付について

平成22年度より協会からの発送は中止させていただきます。

5) 子ども絵画コンクールについて

83校、514作品の募集があり、次年度以降も継続実施する。末吉相談役より「都市ビル環境の日」に関して、現在はイベントに注力の傾向にあるが、本来の設定主旨に立ち返り、10月4日を当協会の存在価値を広く一般の人、ビルオーナーに浸透させる良い機会と捉える必要がある。例えばクリーンアップ福岡の場合は、ビルオーナーに30分程度物件の周辺の清掃を行う承諾を取り付け、会員を総動員して県下で一斉に集中的に行動を起こす。それにより会員の参加意識の向上を図ると共に、ビルオーナー、一般の人へのアピール、報道関係の関心も深まり、開催の意義が深まるのではとのアドバイスあり。

5. 懇親旅行について(藤)

11月8日~10日に、韓国済州島へ参加者20名にて実施する。

6. 学校ガラス見積について

10/30福岡市設備公社へ安全面確保のための値上げ見積もりを提出した。(後藤)

7. 福岡市環境局事業系ごみ対策課よりの他都市視察の依頼について(仲前)

11月20日に神戸市環境局を訪問し、同市でのごみ資源化状況の視察を行う。担当の仲前委員及び倉重委員が参加予定。

次回 理事会 12月10日(木)

今月のマドンナ

(株) 創建サービス
川畑 圭子 さん



- 勤務年数/3年7ヶ月
- 年 齢/26歳
- 血液型/A型
- 星 座/おひつじ座
- 趣 味/読書、DVD、映画鑑賞
- お勤めの店は/福岡三越にある「ARDEUR(アルデュール)」。こちらの塩キャラメルのマロンがおいしいです。
- ストレス解消法は/温泉に行くこと

12月 行事予定表

2	水	第41回福岡県BM協会ゴルフ会 於:福岡カンツリー倶楽部 和自コース
10	木	15:30 第349回理事会 於:県協会会議室

毎月10日は災害発生報告書提出締切日です。
毎週金曜日は知事登録業務相談窓口開設日です。